

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街				
重点課題	1	水とみどりの保全・育成と創出				
主 な 取 組 内 容						
19年度(実績)			20年度(予定)			
施策1	みどりの保全・育成					
	特別緑地保全地区取得 約1.3ha 都市環境林取得 約3.6ha		特別緑地保全地区取得 約1.1ha 都市環境林取得 約4.4ha			
施策2	みどりの創出					
	道路緑化推進事業(街路樹補植1,700本、樹拡大19カ所など) 一家庭一植樹運動推進事業による苗木配布 約10千本、リラの花香る街づくり事業による植樹本数 約4千本 さっぽろふるさとの森づくり植樹祭 毎日新聞社と共催により苗木10千本植樹 コミュニティガーデン設置数 1カ所 アマ&ホップフェスティバルの支援、フラワーロードの延長 3,100m 白旗山スキーコース森林復元工事、白旗山フェスティバル 丘珠空港緑地 パークゴルフ場18ホールの先行供用開始		道路緑化推進事業(街路樹補植1,472本、樹拡大10カ所など) 一家庭一植樹運動推進事業による苗木配布 約10千本 さっぽろふるさとの森づくり植樹祭 苗木3千本植樹 コミュニティガーデン設置数 10カ所 アマ&ホップフェスティバルの支援、フラワーロードの延長 3,200m 創成川通緑地空間等実施設計 白旗山スキーコース森林復元モニタリング調査 丘珠空港緑地 用地取得、施設整備 東雁来公園 サッカー場2面の整備			
施策3	水辺の保全・創出					
	協働による水生生物観察会や市民活動事例発表会の実施 水生生物調査ハンドブックの増刷・配布 豊平川雨水貯留管の基本設計 合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 7カ所 雨天時の放流水質の改善に関する調査 雨水流出抑制の他都市事例調査 雨水流出抑制に関する情報提供と意向把握(下水道パネル展、下水道モニター制度) 有識者による札幌市河川環境基本計画の検討会開催(4回) 多自然川づくりによる散策路整備や意見交換会等の実施		協働による水生生物観察会や市民活動事例発表会の実施 水環境保全活動の実態把握 豊平川雨水貯留管の実実施設計 合流式雨水吐口へのスクリーン施設の設置 4カ所 雨天時の放流水質の改善に関する調査 新たな開発における雨水流出抑制量の設定 雨水流出抑制技術基準(案)策定 札幌市河川環境基本計画の策定 多自然川づくりによる散策路整備等の実施			
施策4	水とみどりを楽しむ心の醸成					
	市民・企業等の協働による公園緑地の利活用(イベント実施等) 森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 公園緑地落葉等のリサイクルのため、堆肥ヤード設置(2カ所) 国際園芸博覧会(花博)開催の検討について、基礎調査を実施		市民・企業等の協働による公園緑地の利活用(イベント実施等) 森林・公園ボランティア活動の拡充・促進 仮称「落葉の貯金箱運動」の展開、堆肥ヤード設置 2カ所 学校に児童生徒、保護者及び地域住民の協働により植樹の実施(10校、100本) 花博構想について、市民アンケート調査を実施し、その上で開催誘致の是非を決定			
主 な 施 設 、 サ ー ビ ス の 整 備 水 準						
施設(サービス)名	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	1	水とみどりの保全・育成と創出
評価(成果)		課題
施策1 みどりの保全・育成		
特別緑地保全地区や都市環境緑地の取得により、重要な樹林地を公有化することで、街から見える山並みや市街地に点在する緑地の保全に努め、将来にわたり良好な都市環境の形成、景観風致の維持が図られた。	豊かな自然環境を維持するための財源確保が困難になってきている。 森林環境保全を積極的に推進するため、行政が主体となって行ってきたみどりの保全・育成に係る制度や事業手法にとどまらず、NPO、市民ボランティア、民間企業などの多様な主体の活動にも重点を置き、その活動の支援や協働などについて検討を行い、地域に親しまれているみどりを適切に保全・育成する必要がある。	
施策2 みどりの創出		
公園緑地の整備をはじめとして、市街地の街路樹の整備や、公共施設の緑化のほか市民の協力のもと民有地の緑化を進めた。このほか歩道美化事業やアマとホップのフラワーロードを始めとする市民と協働による花を活用した街の美化によって、コミュニティの醸成や、地域の個性をいかした活気ある街づくりを進め、「身近なみどりの満足度」につながった。 このほか、市民参加のもと森づくりを行うことで、みどりの創出に加え、市民の緑化・環境意識の高揚を図った。	地域で緑化活動や森づくり、公園緑地整備などの取組に市民がより参加できるようしくみや支援を進める必要がある。 また、みどり豊かなまちづくりには街路樹等の大径木の保護育成や建築物における多様な緑化手法の導入が必要である。	
施策3 水辺の保全・創出		
水辺とのふれあいの取組として、水生生物観察会等の実施により、市民の水環境への関心の高まりや、市民交流の促進がみられた。 また、多自然川づくりを推進するため、札幌市河川環境基本計画の構成案を作成したほか、吉田川において市民参加で環境整備計画を策定した。 このほか、水とみどりのうるおいのあるまちづくりを目指し、雨水流出抑制について下水道モニター制度などによる情報提供とアンケートを行い、市民の意向を把握することができた。	水環境保全に関する情報の共有化や活動団体の連携を推進するため、ネットワークの構築が必要である。 また、札幌市河川環境基本計画や多自然川づくりによる河川整備に市民意見を取り入れることにより、市民の関心を高めていくことが必要である。 そのほか、効果的な合流式下水道の改善技術や望ましい雨水流出抑制量の設定方法の検討が必要である。	
施策4 水とみどりを楽しむ心の醸成		
市民との連携等によるイベントを実施することで、市民が主体となった公園緑地の利活用促進が図られた。 また、ボランティア制度の見直しによって、より多くの市民参加が可能となった。 そのほかにも、国際園芸博覧会(花博)開催に係る基礎調査・研究報告書が作成された。	市民・企業と連携・協働による取組を進めるためには、市民・企業のニーズを把握するとともに、活動のしくみや支援方法の充実を図る必要がある。 また、花博開催の判断においては経済的效果に加え、環境保全などへの市民意識の向上効果なども検討する必要がある。	
今後の重点取組		
市民・企業との連携・協働による公園緑地の整備、地域緑化の推進や森づくりのほか、公園緑地の利活用の促進に取り組む。		

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	1	水とみどりの保全・育成と創出

成果指標等の動向

<p>項目1 身近なみどりの満足度(単位:%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>62.1</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>62.1</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>50</td></tr> </table>	年度	値	H18 (現状値)	62.1	H19 (実績)	62.1	H22 (目標値)	50	<p>項目2 地域の緑化活動への参加意識(単位:%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>62.7</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>62.7</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>50</td></tr> </table>	年度	値	H18 (現状値)	62.7	H19 (実績)	62.7	H22 (目標値)	50
年度	値																
H18 (現状値)	62.1																
H19 (実績)	62.1																
H22 (目標値)	50																
年度	値																
H18 (現状値)	62.7																
H19 (実績)	62.7																
H22 (目標値)	50																
<p>項目3 河川の水環境目標値(環境基準)の達成率(単位:%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>100</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>100</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>100</td></tr> </table>	年度	値	H18 (現状値)	100	H19 (実績)	100	H22 (目標値)	100	<p>項目4 みどりに関わるボランティア登録団体数(単位:団体)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>50</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>57</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>100</td></tr> </table>	年度	値	H18 (現状値)	50	H19 (実績)	57	H22 (目標値)	100
年度	値																
H18 (現状値)	100																
H19 (実績)	100																
H22 (目標値)	100																
年度	値																
H18 (現状値)	50																
H19 (実績)	57																
H22 (目標値)	100																
<p>項目5</p>	<p>項目6</p>																

成果指標等から見た重点課題の評価

・「身近なみどりの満足度」「地域の緑化活動への参加意識」は目標数値を上回っており、みどりの保全・育成、創出による一定の成果は見られた。今後も、協働によるみどりの保全・育成、創出を行うとともに、みどりを楽しむ心の醸成を推し進めることで、今以上の市民のみどりに対する満足度を高めたい。

・「河川の水環境目標値(環境基準)の達成率」は目標の数値を達成しており、多様な生態系に配慮しながら、良好な水環境の維持・回復を図るとともに、みどり豊かで清らかな水辺の創出による効果と考える。

・「みどりに関わるボランティア登録団体数」は着実に団体数を増加し、市民や企業などとの協働による公園緑地の利活用やみどりに対する保全・創出活動の取組が堅実に広がりつつある。今後もボランティア登録団体の増加に取り組み、H22の目標値達成を目指していく。